

平成19年度

追 加 報 告 書

平成19年12月
中津川市市民による行政評価委員会

も く じ

はじめに	2
1. 委員会 追加報告	3
2. 小委員会 追加報告	3
① 第1小委員会	5
② 第4小委員会	19
③ 第5小委員会	39
④ 特定課題（第5小委員会）	48
3. 委員会の活動の概要	50

■はじめに

本年10月12日の中間報告時点で未評価であった事業について、その後の評価活動により追加報告を致します。

評価については、中間報告と同様に、「中津川市が行っている事業及び手法としての事務について評価し、今後の方向性や改善方法の提言を行うことにより、職員の意識改革を促すとともに、職員の取り組みを監理する」という役割の基に行っております。

今回の追加報告も、中間報告と同様、現在行われている来年度の予算査定作業に有効に使われることを期待します。

●事業評価

中間報告時点では、234事業が未評価でした。それを12月3日までに全て評価しました。

中間報告分と合わせて全854事業をして、評価が「縮小」や「廃止」となった事業は130事業ありましたが、それと同時に43事業の「拡大」もありました。当委員会は、厳しい財政状況において事業や事務にムダがないかを探ると同時に、拡大展開していくべき事業は積極的に「拡大」評価をしております。

市民による行政評価委員会の目的は、単純に目先の財政規模を縮小させることではありません。中津川市がより良い市となるよう願い、縮小すべきものは縮小（例：「物品等管理事業」のような行政で使う物品の管理事業など）、拡大すべきものは拡大（例：「情報化まちづくり事業」のような光ファイバーの整備事業など）と判断しております。

●特定課題

18年度は社会福祉協議会や各病院の勉強会及びヒアリングを行い、19年度は中間報告までに、付知振興公社など10社の外郭団体について現地視察しました。また850人体制を進めていく中で、総合事務所のあり方について関係各位や各総合事務所長と協議しました。

今回の追加報告では、市民病院・坂下病院・各診療所のあり方の、より具体的な方向性について協議しましたのでご報告します。

今後は、補助金や負担金など市が外部に出しているお金についても協議していきます。

そして最終報告において、特定課題のまとめ及び詳細を報告致します。

●職員事務改善提案

改善提案様式一式を提示された平成19年9月18日以降、市の方で事務改善提案の業務を進めて頂きました。

職員が事務改善を提案し、85件の提案がありましたが、提案の中には事務改善とは言い難いものがあったため、「行政改革推進室」による審査によって提案を選別し、42件を職員事務改善提案として受け付けました。

市民による行政評価委員会は、随時、市の「行政改革推進委員会」より取り組み結果の審査報告を受け、平成20年1月末までに審査結果の妥当性を評価致します。

そして平成20年2月末までに市の「行政改革推進委員会」へ評価結果を提出する予定です。

平成19年12月20日

市民による行政評価委員会 委員長 鈴木 力